

もち押し

桜井神社

雪交じりの雨、男たちの体から湯気が上がる……新春恒例の「もち押し」が1月10日、桜井神社境内で行われ、見物客が見守る中、締め込み姿の若者がもちの争奪戦を繰り広げました。夜8時、厄男7人が参拝者にもちをまいた後、厄に見立てた直径30cmほどの大もちを若者の中に投げ込みます。若者たちはもちに飛びつき、もちが割れるまで奪い合っていました。



厄男が投げ込んだ餅もちが割れるまで押し合う

CONTENTS

桜井神社 もち押し	1	いとしま文化財情報、平成23年春季火災予防運動	20
議会だより	2	博物館だより、豊かな長寿社会をめざす講演会	21
糸島のできごと	11	糸島まるかじり通信	22
市民提案型 まちづくり事業の紹介、市民提案型 まちづくり事業イベント案内	10	地産地消応援団、NPO・ボランティアフェア2011	23
糸島市情報化推進計画(案) パブリックコメント募集、専修学校などでの技能習得資金の貸し付け、高齢者のなんでも相談会	13	くらしの情報、公民館からのお知らせ	24
シリーズ国保⑨ 被扶養者になれませんか	18	みんなのコンサートin深江	25
		広報カレンダー	26
		糸島人、1型糖尿病についての講演会と交流会、広告	28

■平成23年2月15日 福岡県糸島市発行 092(323)1111
糸島市公式ホームページアドレス <http://www.city.itoshima.lg.jp>

▶「広報いとしま」メールアドレス: itoshima@city.itoshima.lg.jp 配信中心
防災行政無線電話番号: (322) 92229



携帯向けQRコード



糸島人

Itoshima Bito

家でじっとしているより
外で活動をしている方が
元気が出てきます
桜井尚子さん(二丈深江/79歳)

vol.8

食進会が設立された昭和53年に入会し、それ以来活動を続けています。当時、婦人会の役員をしており、仲間と一緒に栄養士を交えて料理を誘われ、友達づくりになると思い、入会しました。

当初は、糸島郡の組織で、他県の食進会との交流も活発でした。いろんな団体と一緒に栄養士を交えて料理を学び、その料理を地域に持ち帰って講習会を開いたり、役

場の依頼で、文化祭などのイベントで試食会を行ったり、いろいろとしていました。現在は、アンビシャス活動のお手伝いなど、地域の子どもたちや若い人たちと一緒に調理をしたり、独居老人のお弁当作りなどのお手伝いをしています。

若い人と交流すると、元気がもたれます。家でじっとしているより、何かに取り組んでいる方が元気になります。食進会の活動が、わたしの健康の秘訣かもしれません。

地域の食進会の中で最年長となり、今は、一般会員として、お手伝い程度しかできませんが、若い世代の会員さんたちが頑張って活動している、食進会のネットワークは続いています。

1型糖尿病についての講演会と交流会

専門医による講演と家族の交流会を行います。

日時 3月3日(木) 13時30分から15時30分まで

開催場所 福岡県糸島総合庁舎2階大会議室(糸島市浦志2-3-1)

対象者 1型糖尿病患児(20歳未満)とその家族、学校などの関係者

内容 「1部」1型糖尿病の正しい理解」日常生活での注意点は?」
講師 岡田朗さん(岡田内科クリニック院長)

「2部」交流会(患児と家族のみ)同院長と同院スタッフによるアドバイス

申込期限 2月25日(金)
申込方法 電話またはFAXで申し込み

申し込み問い合わせ先

福岡県糸島保健福祉事務所
健康増進課健康増進係
TEL (322) 14309
FAX (322) 09252

借金問題、一人で悩まずご相談ください! (秘密厳守)

返済しているのに元本がなかなか減らない... 貸金業の改正により新たな借り入れができなくなり困っている...

住宅ローンだけは支払い、他の支払いを整理したい場合 / 一度借金を全て免責してもらい、人生を再スタートしたい場合

個人再生 任意整理 自己破産

司法書士法人 **鷹(まろ)法務事務所** 0120-062-874 (通話無料)

受付時間/9:00~18:00(休:土・日・祝) (要予約)
代表司法書士 阿部 清 佐賀県司法書士会所属 認定番号 第729046号 〒847-0055 唐津市刀町1515-2 精乳舎ビル4階

任意整理・自己破産・個人再生・不当利得返還請求訴訟手続(過払訴訟)、各種裁判手続き、遺言・相続登記・不動産登記・法人登記全般など

事情があって当事務所に来られない方は、司法書士が何う事も可能ですので、お気軽にご相談下さい。

相談無料

糸島市議会だより

12月定例会(第6回定例会)は平成22年12月1日(水)～16日(木)までの16日間開催され、25件の議案や請願の審議が行われました。今定例会では、第1次糸島市長期総合計画基本構想や、平成22年度一般会計補正予算案などが上程され、賛成多数で可決されました。

議案質疑

第1次糸島市長期総合計画基本構想について

(議案説明)糸島1市2町合併協議会で策定された「新市基本計画」を骨格とし、総合計画審議会、各地域審議会の調査・審議を経て、本市のまちづくりの基本的な方向性を示す構想を定める。

買 取 吉丸 克彦
井上 健作
松月 よし子
徳安 達成

問 「障害者福祉の推進」に関して特別支援学校についての方向性を伺う。

小島 忠義
江頭 晶子
三輪 俊蔵
檜和田 正子
伊藤 千代子
古川 忠正

答 特別支援学校は、学校教育法により都道府県に設置義務があり、長期総合計画にうたうことはできない。特別支援学校の設置については、今後も県に対して継続して強く要望をしていく。

問 「市民の健康対策、健康づく

り」の推進について、具体的にどのようなことを考えているか。

答 市民の健康づくりのために1次予防として健康講座、学習会等を通じて健康意識の向上、2次予防として病気の早期発見、早期治療のために総合健診等の積極的な推進を考えている。

問 「経営者の視点に立った健全な行政経営」とは、どのような考えか。

答 企業誘致、地場産業の振興、新産業の創出などを積極的に進め、経営感覚を持った効率的で安定的な行政経営が必要である。また市民と行政がともに考え行動する「協働」を柱に、市民力が生

まれ、存分に発揮できるまちづくりを推進していくことであると考えている。

問 「特色ある商店街活動を推進」とあるが、具体的にどのような構想か。

答 軽トラ市の開催や魅力ある糸島産品を扱うアンテナショップの開設、唐津街道のイメージに沿った景観形成などが考えられ、そのような取り組みをぜひ促進していきたい。

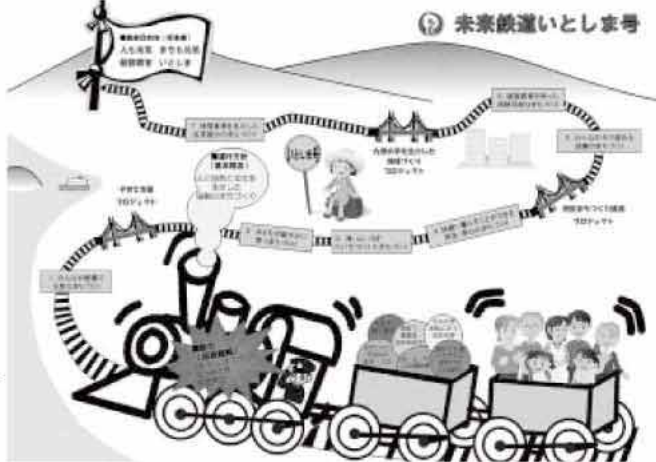
問 「企業の誘致と新産業の創出」に関して、現在の景気状況の中、企業立地を進めるのは無理があるのではないか。

答 九州大学の伊都キャンパスへの統合移転によって、多くの人材や施設などの人的資源が糸島に集積している。この機会を生かして、企業や研究所の誘致、新産業の創出に繋げていくこと

問 「農業基盤の維持と強化を図る」とあるが、具体的にどのような構想を持っているか。

答 県営土地改良事業の実施により、大区画なほ場、農道等を一体的に整備し、農業生産活動の負担軽減と生産効率

未来鉄道いとしま号(長期総合計画を表した一枚の絵)



のよい生産基盤の整備を図る。また農薬用施設の改修、修繕工事などを実施し、農業の生産活動の維持管理を容易にすることとしている。

問 「人口推計と将来目標人口」に関して、平成32年の目標人口を10万2000人と現在より増えるとしている。この人口増についての考え方を伺う。

答 自然増減はマイナス約2100人と予測している。社会・政策人口の増減はプラス3500人と推計しており、このうち九州大学の増加人口分を2000人と見込んでいる。

問 この構想についての市長の考えを人口設定についての考えも含めて伺う。

答 日本全体でみると平成17年から人口減少時代に入った中で、本市は今後10年間の人口が減らないとこれに大きな価値がある。それだけ今後に期待が持てる。この基本構想は、最大の課題である人口構造の変化によるマイナス影響を意識したものである。

賛否が分かれた案件

議案名	議員名(議席番号順)															議決結果									
	吉村 勝	中村 隆光	寺崎 強	古川 忠正	谷口 一成	浦伊 三三	井上 健作	伊藤 千代子	檜和田 正子	吉丸 克彦	江頭 晶子	笹栗 純夫	堀田 純也	波多江 一正	中嶋 正信		三輪 俊蔵	黒田 公二	田原 耕一	小島 忠義	三輪 栄幸	中村 進	松月 よし子	徳安 達成	
第1次糸島市長期総合計画基本構想について	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成22年度糸島市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成21年度糸島市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成21年度糸島市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成21年度糸島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
請願第13号 TPP(環太平洋経済連携協定)への対応に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	採択

※有田雄雄議長は、議長職のため賛成(賛成、反対の意思表示)権はありません。(表の見方)○は賛成の議員、●は賛成でない議員

全会一致の案件 (委員会に付託した案件及び議員提出議案のみ掲載)

付託委員会	議案名
総務文教 常任委員会	糸島市手数料条例の一部を改正する条例について
	糸島市火災予防条例の一部を改正する条例について
	職員の公務中に生じた車両事故の損害賠償及び和解について 「非枝・恒久平和都市宣言」を求める請願
市民福祉 常任委員会	糸島市と福岡県介護保険広域連合との間の介護保険に関する事務の委託の廃止について
建設産業 常任委員会	糸島市水道事業給水条例の一部を改正する条例について
	市道路線の廃止について
	市道路線の認定について
委員会に 付託しない 議案	平成22年度糸島市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
	平成22年度糸島市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
	平成22年度糸島市水道事業会計補正予算(第3号)
	平成22年度糸島市下水道事業会計補正予算(第3号)
議員提出の 議案	ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書の提出について
	切れ目ない中小企業支援及び金融支援策を求める意見書の提出について TPP(環太平洋経済連携協定)への対応に関する意見書の提出について

伊藤 千代子議員

市職員の過労死と病休について

問 心の病気による職員の病休発生率は県下ワースト1位と聞いたが、事実か。
答 市職員の精神的病休者は8人、発生率1.3%で、県下の中で2番目に高い発生率となっている。

問 市職員の過労死について。
答 亡くなられた職員の個別の案件についてはプライバシーに配慮し、慎重に対応する必要があるため答弁は差し控える。

職員削減計画と住民サービスについて

問 今年度多数の退職者が出るのに来年度の新規採用予定がないのは、どこ部署に余剰人員があると考えるのか。
答 決して余剰人員があるから職員の新規採用を見送ったわけではない。合併初年度であり、合併協議会で決定された職員削減計画に基づき削減を進めている。ただし、予想以上に早期退職者が増加しており、住民サービスの低下などが懸念されるため、来年度以降は計画を見直し職員採用試験を行う必要がある。

問 消防本部には現在、10万人都市に必要な特別救助隊がない。設置するのに必要な人員は几人か。
答 長期総合計画基本構想の成長戦略のひとつとして「糸島ブランドの価値を高める」とあるが、この戦略の意味するところは何か。
答 糸島の知名度、魅力、価値、評価を高めることであり、自治体間、地域間競争に打ち勝っていくための大きな戦略となるものと思っている。

糸島ブランドについて

問 今後どのような地域イメージとして糸島ブランドを形成していくかと考えているか。
答 豊富な地域資源、糸島のライフスタイルそのもの、商品、サービスなどを組み合わせ、そのためのコーディネートや情報発信が必要であると考えている。

問 糸島ブランドの今後の取り組み方、進め方についてどのように考えているか。
答 地域資源の現状分析、マーケティング調査、体制づくり、戦術の組み

立てが必要になるが、「愛郷もん郷土を愛する人」のアイデアや協力を得ながら進めていきたいと思っている。

問 特別救助隊の配置については、国勢調査人口の公表を踏まえ、整備を図っていく。また、編成については現在の定数94名を100名に増員すると、4名で編成する特別救助隊の編成が可能となる。
答 保育士正規職員の新規採用をする考えはあるか。
答 不足



問 保育士正規職員の新規採用をする考えはあるか。
答 不足

問 現在、有資格者の臨時職員を雇用して対応している。また各係間の協力体制を図り業務を行っている。
答 ケースワーカーは1人当たりの担当が80人程度が基準と思うが、現在は90人を超えている。担当を80人以下の職員体制にするには何人必要か。
答 社会福祉法で標準定数が定められており、この標準で見ると、保護世帯数の増加により9月末から1名不足している。

問 指定管理者など公共サービスにおける民間活力の導入には、どのようなメリットがあるかと考えるか。
答 市民サービスの向上とコスト削減である。正規職員の人数抑制や組織の効率化を図ることができ、その財源を市民サービスの安定化のために充てたいと考えている。

公共サービスについて

問 政策形成・企画立案、制度設計業務と利害調整業務、地域活性化業務、それに社会福祉・IT、法制関係などの専門的な部門に正規職員を集約していきたいと考えている。

問 既存のばびるす館と新設図書館をネットワーク化し利便性を高めることをどう考えているか。
答 それぞれの図書館に所蔵する図書資料の検索、リクエストを可能に

江頭 晶子議員

真の豊さを求める街づくりについて

問 地域の性犯罪、性暴力を減らしていくための行政の役割について、どのように考えるか。
答 行政の役割は、広報紙、ホームページなどを活用した啓発、市民などの活動に対する支援、防犯灯の設置、市民、事業者などそれぞれにも役割があり、それらの連携も大切であると考えている。

問 犯罪を起させないという視点で予防策のプログラムが必要と思うがどのように考えるか。
答 他市の予防策プログラムを見ると本市の取り組み内容と同様な施策もあるが、今後さらに先進事例など参考としながら警察、市民の協力連携により防犯対策を進めていきたい。

問 特別支援を必要とする義務教育を終えた子どもたちがきちんと学び、自立していくシステムが必要である。教育委員会として糸島市の高校に誘致する努力をしていただきたいか。
答 設置主体が県であるので、特別支援学校の市内への設置や高等部のスクールバスの運行、また平成24年度に福岡農業高校に設置される特別支援学校高等学校への通学区域

笹栗 純夫議員

お年寄りにとって、住みやすいまちづくりができないか

問 買い物弱者への対策として何か実施しているか。
答 (介護保険課) 介護保険の訪問介護で買い物などの援助を含む生活援助サービスと、介護保険外の福祉サービスで日常生活を援助する軽度生活援助事業を実施している。

問 高齢者への虐待に対し、行政としてどのような対策を打っているか。
答 未然防止策として市民、養護者などに対する啓発、高齢者福祉相談員の配置、また、関係機関と連携した高齢者虐待防止ネットワークを構築して早期発見、早期対応を図っている。

図書館について

問 既存のばびるす館と新設図書館をネットワーク化し利便性を高めることをどう考えているか。
答 それぞれの図書館に所蔵する図書資料の検索、リクエストを可能に



安全安心のまちづくりキャンペーンの様子

問 波多江小学校で2学期制導入について説明会があつているが、2学期制のメリット、デメリットについて伺う。
答 メリットは、始業式と終業式が減ることにより授業時数の確保ができる、児童、生徒とかわる時間が増えること。デメリットは、学期の途中に休みが入ることである。

問 男女共同参画についての行動計画が審議中だが、基本的な考え方を伺う。
答 本市では、いまだ固定的な性別役割分担意識が残り、男性も女性も意識改革が必要である。基本計画に基づき施策を実施し、豊かな活力ある糸島市の実現をめざす。

問 市の図書館は分散し所蔵可能数にも限界がある。それを解消し、幅広い図書の提供を可能とするWeb図書館が不可欠と思うが、見解を伺う。
答 電子図書館のサービスをあり方や初期投資および運営経費を含め、Web図書館について、検討していきたいと考えている。

鳥獣被害にどう対処するか

問 市の近年の鳥獣被害の実態と、被害が増加している状況をどう分析しているか伺う。
答 昨年度の農作物被害は、6000万円、特にイノシシが60%の3600万円に達している。
問 耕作放棄地の問題や温暖化によりイノシシの生息範囲が拡大している状況である。
答 農水省が進める鳥獣被害緊急総合対策事業を積極的に活用するべきではないか。

問 この事業内容が決定次第、地域の農区長会へ事業内容の周知を図り、要望を取りまとめ国へ申請するなど、被害防止対策に積極的に取り組んでいきたいと考えている。

楢和田 正子議員

子どもの発達に大きな役割を担う学校給食について

問 糸島市は地産地消を進めているが、二丈の中学校給食はセンター方式ではないか。

答 地元食材として、米や、みそ、しょうゆなどの調味料、キャベツやタマネギなどの野菜を使用している。

問 前原、志摩の中学校のように、二丈の中学校でも自校方式の給食を実施する方向で検討ができないか。

答 二丈町の中学校の学校給食についてはアンケート結果や衛生面、栄養面からも問題はない。学校関係の施設整備を行っていく必要があるが、今後の検討課題としたい。

問 米飯給食には、副食に工夫がなされるなどの役割があるが、今後米飯給食を増やす計画はあるか。

答 週4回の米飯給食を現在5校で実施しているが、平成23年度からは18校に増やし、平成25年度には全校で実施する予定である。



米飯給食の様子

水産振興および漁港施設の整備計画について

問 漁業で安定した生活、所得向上ができるための対策は考えているのか。

答 生産増につながる対策を計画的、継続的に行っていく。また、魚食普及活動ブランド化など、魚食の需要が伸びる取り組みも推進していきたい。

問 水産振興のためには、漁港の基盤整備が最も重要であると思われるが、どのように考えているか。

答 漁港は漁業の活動基地で、漁船を守る基地でもある。このため、漁業活動がしやすい荷揚げ場施設や荷さばき施設、給油施設の整備、防波堤の整備が重要だと思う。

問 地元から漁港の改修要望があがっていると思うが、改修計画はあるのか。

答 糸島漁協から各漁港の整備計画について、要望や陳情があがっている。実施計画に計上して、計画的に整備をしていきたい。

問 危機管理の面から、防波堤や防風柵の整備が必要な漁港があると思うが、整備する考えはあるか。

答 船越漁港、加布里漁港、岐志漁港の整備については、補助事業を利用して計画的に整備を行い、安全安心な漁港にしていきたい。

問 子どもたちを中心に魚離れが生じているが、今後どのような取り組み

国民健康保険について

問 国民税の負担割合について、高いと思わないか。

答 国民が等しく医療を受けることができるよう相応の負担をお願いしているものである。また低所得世帯に対しては、所得に応じて保険税の負担軽減を行っている。

問 滞納世帯が増加傾向にあり差し押さえなどを行っているが、住民の相談などには対応しているのか。

答 滞納整理の手法は分割での納付を前提にした納税相談であり、文書、電話、訪問などによる相談を呼び掛けている。差し押さえは税の公平性維持のための最終手段である。

問 国が減らしてきた補助金を元の額に戻せば、国民税を減らすことができる。市では、国に對してどのように伝えているか。

答 国保財政の窮乏は、急激な高齢化などの医療費の高騰に起因していると考えている。国には全国市長会などを通じて国庫負担割合引き上げなど財政支援措置をお願いしている。

問 高額医療費の支給申請はどのように行うのか。

答 「高額療養費支給申請書」に必要事項を記入した上で、1か月間に支払った医療機関などの領収書を添えて国保年金課窓口へ提出いただくことになる。

をするのか。

答 糸島漁協と協力して魚のさばき方教室の開催、学校給食への食材提供、漁業体験教室などを実施している。

問 本年度は、魚のさばきかたの冊子を作成し、みなさんに配布した。今後魚介類に慣れ親しみたい。らう取り組みを行っているか。

答 水産業における糸島ブランドの創出・発信についてどう考え、今後どのように取り組むのか。

答 市内直売所の活用や宣伝隊、イベント時の試食の場などを増やすことやインターネットで情報を発信していきたい。

また今後、漁協、市、県水産海洋技術センター、九大などと連携して、ブランド商品の創出を図っていき



にぎわう直売所

吉丸 克彦議員

中山間地について

問 中山間地域の生産基盤の維持、保全はどのように考えているか。

答 国、県の補助事業や土地改良事業の活用、国の農地・水・環境保全向上対策事業および中山間地域等直接支払事業を活用して、農業・農村が持つ多面的な機能の維持、確保に努めている。

問 森林の荒廃地についてどのような対策を考えているか。

答 平成20年度から荒廃森林再生事業に着手しており、15年以上森林施業がさされていないスギ、ヒノキ林の間伐や侵入竹の除伐などの森林整備を実施している。



明るく、下草や低木が豊かな森林

問 公共交通のあり方と交通不便地域の解消についてどう考えているか。

答 福岡県と関係市町で、地域コミュニティにおける有償運行が可能となるよう特区構想の研究を始めた。認可されれば、現状路線を補完する支線として市民協働による公共交通が実現できる。

問 地域消防団の確保についてどう考えているか。

答 団員や行政区役員による新入団員の勧誘により、現在消防団員は確保されている。将来は団員確保が困難になると思われるので、今後他市の状況も含め調査研究したい。

問 中山間地域における定住化へ向けての取り組みはあるのか。

答 企業誘致をはじめ、産業や観光の振興、生活環境の整備、子育て環境の充実にも努める。また、共創プランで郷土を愛する「愛郷もん」を増やしていきたい。

高齢者や障がい者について

問 精神障がい者への支援は市としてどのような取り組みをしているのか。

答 障がいのある方が地域の中で自立した生活ができるように、相談窓口の設置、制度および施設紹介、地域活動支援センターへの運営補助を行っている。

問 精神障がい者の親を対象としたカウンセラーまたは相談窓口は用意できるか。

答 相談窓口は設置しているがカウンセラーの紹介や配置は行っていない。ただ、うつ病など自殺予防のためのカウンセリングが受けられるように検討している。

松月 よし子議員

高齢者福祉について

問 在宅介護に関する相談体制はどのようになっているか。

答 在宅介護を含む高齢者などに関する総合相談窓口として地域包括支援センターを設置し、日常生活圏域ごとに5か所の相談窓口で対応している。

問 家族介護者に対する支援はどのようなものがあるか。

答 介護保険サービスのほかに紙おむつ給付、移送、訪問理髪、徘徊高齢者等位置検案、日常生活用具の給付、軽度生活援助、特殊寝台貸与などの施策を実施している。

問 高齢者福祉相談員とはどのようなことをするのか。

答 関係機関と連携した高齢者虐待の早期発見・早期対応、独居や高齢者夫婦のみ世帯などの見守り、安否確認を兼ねた訪問、各種相談対応などを行っている。

校区社会福祉協議会について

問 どのような組織なのか、また組織をつくる必要性とは何か。

答 それぞれの校区で異なるが、地域で活動している各種団体で組織されている。主な目的として、ひと

公民館について

問 今後どのような公民館のあり方をめざしているのか。

答 市民の多様な学習ニーズに応えつつ、社会の変化に対応した「公民館」をめざしていきたいと考えている。



さまざまな機能が期待される公民館

問 公民館機能とコミュニティセンター機能の二元化について検討するとのお話があったが、どのような状況か。

答 公民館機能とコミュニティセンター機能の違いや、管理運営と施設利用などについて調査し、現状や課題の整理を行っていくこととしている。米年度には、関係者による検討会の立ち上げを予定している。

九大を生かした地域づくりについて

問 九大との連携協力協定を締結したが、何件ぐらいの取り組みが進行中なのか、また、主な連携活動はどのようなか。

答 平成22年度の予定事業を含めて、連携事業は97事業で、主な事業は、社会保険カードの実証実験、農業の共同研究を行う糸島農業産学官連携推進協議会の活動などである。

問 いとしまサイエンスキャラバンの今後の展開について伺う。

答 サイエンスキャラバンはリビーターも多し、市民のみならず九州大学を身近に感じていただくため、今後も継続して開催する。

問 市民向けの公開講座を九大に働きかけ、糸島市で開催する考えはあるのか。

答 市主催の講座とは別に、可能な限り九州大学の公開講座も糸島市で開催していただけるよう、九州大学と協議を行っていると考えている。

愛され親しまれる市民窓口について

問 二丈・志摩庁舎の総合窓口の1日当たりの利用状況と課題について伺う。

答 (二丈庁舎総合窓口課)

1日100人の利用があり、印鑑

証明などの交付が半数を占めている。課題は、支所業務の周知を行い、利用者増を図ること。

(志摩庁舎総合窓口課)

平成22年4月から11月までの8か月間において、1日平均116名の方が利用されている。特に印鑑証明、住民票などの発行が多い。

次に、課題としては、市の広報やHPなどを活用し、支所で可能な業務をお知らせしながら利用者の増加を図ることである。

問 本庁舎の総合窓口化はどのように検討しているか。

答 本庁においても、市民が一つの窓口で各手続きができる総合窓口化ワンストップ窓口は急務と考えており、実現に向け全庁的な検討を行う。

問 総合窓口化を推進する上で最大の課題は何か。

答 対象業務とその事務処理範囲の選択、フロアの改修および電算システム、ソフトウェアに要する多額の経費、組織機構の見直しと職員の意識改革などが課題と考える。

問 休日の市役所開庁について、どのように考えているか。

答 3月から4月にかけて行う休日開庁試行の検証やアンケート調査のご意見を集約し、今後の休日開庁に向けて発展的な検討を進めたいと考えている。

高齢者福祉について

問 地域包括支援センターの役割について伺う。

答 高齢者に関する総合相談・支援窓口として、高齢者の虐待防止などの権利擁護、予防給付の予防プランの作成、ケアマネ指導・支援、関係機関との連携、協力体制づくりなどを社会福祉士などの専門職員を配置して実施している。

問 日常生活自立支援事業の内容と利用件数について伺う。

答 認知症の高齢者などが地域で自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用援助などを行うもので、市社会福祉協議会が実施。平成22年11月末現在で利用者数は19人である。

問 成年後見人制度の内容と利用件数について伺う。

答 判断能力が十分でない人が不利益を被らないように家庭裁判所に申立てを行い、援助してくれる人をつけてもらう制度で、特に必要があると認めるときは、市町村長が見解開始の申し立てができる。

平成22年10月末現在で、市長申し立てによる審判決定者1人、市長申し立て準備中3人である。

問 高齢者の移動手段として、巡回バスを運行してほしいとの要望が多いがいかがか。

答 65歳以上の高齢者のバス路線の新設要望は32%であるが、アンケートの回答では現行のバス利用は8.6%である。まずは、乗車協力により現行路線を維持し、その上で交通不便地域の縮減に取り組む。

健康ふれあい施設 二丈温泉きららの湯の今後のあり方について

健康ふれあい施設

問 健康ふれあい施設「二丈温泉きららの湯」の開設の目的は何か。

答 市民の健康づくりおよび福祉の増進並びに都市住民との交流を図るために設置した施設である。

問 健康ふれあい施設として、どのような活用をしているのか。

答 いとしま健康大学の水中運動教室、水中運動サポーター教室および生活リハビリ体験教室などを行っている。

また、65歳以上の高齢者を対象として利用料の割引を実施し、施設の利用促進や高齢者の健康増進を図っている。

問 健康ふれあい施設としての今後のあり方を伺う。

答 健康づくりの拠点として整備された施設であるが、収益部門としての温泉機能および健康施設を兼ね備えている。現状分析と将来予測を見極めなければならぬが、現時点では変更などの考えはない。

「見守り支援事業」について

問 高齢者の見守り支援に対する基本的な考えを伺う。

答 やがて到来する超高齢社会には、公的な施策だけでは十分でなく、地域の福祉課題をいち早く発見し、その解決のため地域住民が相互に助け合い、支え合うことが必要と行政が支援する仕組みが必要。モニタリングにも掲げているように、日頃から高齢者を地域で見守り、孤独死、犯罪、災害などから高齢者を守る地域見守り支援ネットワークづくりは施策として必要不可欠であり、地域の協力をお願いしながら実施していきたい。

問 民間事業所との連携をどのように拡大していくのか。

答 民間事業所には現在も一部協力をお願いしており、今後さらに協力事業所を増やすなど、高齢者の異常の早期発見、早期対応につながる体制づくりに努めたい。

問 見守り支援を支える民生児童委員に対する行政の活動支援の状況について伺う。

答 民生児童委員が活動しやすいように委員名簿や活動内容を広報紙に掲載し、市民への周知を行っている。また、事務局を糸島市社会福祉協議会にお預けし、市と連携を取っている。

問 災害時要援護者名簿に未登録の要援護者への対策は今後どうするのか。

答 災害時要援護者名簿に未登録の要援護者への対策は今後どうするのか。

糸島市地域交通計画について

問 どのような趣旨、目的のもとに糸島市地域交通計画に取り組んでいるのか。

答 効率的で便利な公共交通網を構築するために策定する。行政、事業者、市民がそれぞれの役割を果たし、協力しながら一挙一動が公共交通を維持、改善していく。



コミュニティバス (九大線)

問 自主運行車両の推進の実現に向けての問題点は何か、また、解決策はあるのか。

答 一番の課題は安全性の確保で、乗務員の定期的な技能講習が必要。運行ルートやダイヤ編成は、住民参画で協議する。市として財政的支援の検討も必要である。

生涯学習の基本施設としての図書館の位置付けと開館準備について

問 図書館は、生涯学習の拠点として

の位置付けがされているのか。

答 糸島市教育基本方針の中でも、生涯学習のための環境づくりで図書館を中心施設と位置付けている。

問 地域活性化交付金とはどのようなものか。また、市としての取り組みを伺う。

答 交付金については、きめ細かな交付金と住民生活に光をそそぐ交付金の2本立てとなっている。これに該当する事業を各課で調査している。どのような予算に使うかはまだ決まっていない。

問 9月議会で23年10月より、基本構想検討委員会を開催するとされたが二丈、志摩館の開館に向けて稼働している今から開催できないのか。

答 二丈、志摩館開館後の状況なども十分見ながら、また他市のいろんな状況も把握して、基本構想検討委員会を開催したいと考えている。

学校給食について

問 二丈の中学校2校の学校給食について、自炊炊飯に向けての取り組みはできないか。

答 二丈町の中学校2校が民間センター方式で実施しており、将来的に学校間の格差を解消する必要があるが、財政的な事情もあり段階的に解消を図っていききたい。

請願の審議結果

12月定例会で審議した請願は5件です。
今定例会における審議結果は、次のとおりです。

採択

● 請願者
糸島農業協同組合
代表理事組合長
松尾照和 他1名

この請願は①TPP交渉に参加しない②参加した場合の影響を十分説明する③食料自給率や農業の振興などを損なわないう対応することを求めた意見書を、国に提出するよう求める内容です。

委員会の審議の中では、「農業に壊滅的な被害を与える」といった表現は断定し過ぎであるとの意見や「参加したら農業は必ず衰退する。それは防ぐべきである」などの意見が出されました。採決の結果、委員会・本会

議ともに採択と決しています。

● 請願者
「非核・恒久平和都市宣言」を求める請願

この請願は「非核・恒久平和都市宣言」の早期実現を求めたものです。

委員会は、「旧1市2町の宣言文の内容」や「宣言文の作成方法や宣言の時期、提案方法」などについて質疑、審査を行いました。

採決の結果、委員会・本会議ともに採択と決しています。

継続審査

● 請願者
糸島の浜周辺の松林保全について

この請願は「細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種の早期実現を求める請願」

審議未了

● 請願者(2件ともに)
新日本婦人の会糸島支部

この請願は「子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願」

請願番号	請願名	付託委員会 採決結果	本会議 採決結果	付託委員会	備考
12	糸島の浜周辺の松林保全について	継続審査	継続審査	建設産業	
13	TPP(環太平洋経済連携協定)への対応に関する請願	採択	採択	市民福祉	関係機関宛に意見書を提出
14	細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種の早期実現を求める請願	審議未了	審議未了	市民福祉	
15	子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願	審議未了	審議未了	市民福祉	
16	「非核・恒久平和都市宣言」を求める請願	採択	採択	総務文教	

公共事業の入札について

● 工事の予定価格がどのようにして決定されているのか。

● 設計金額を勘案し、契約事務規則にのっとり決定しているが、設計金額から一律何%引くというような決定はしていない。

● 積算単価で人件費が最高であった1997年と比較して人件費や資材費はどうなったか。

● 国土交通省の公共工事設計労務単価で普通作業員が約30%の減、財団法人建設物価調査会の建設資材物価指数で、材料費はほぼ横ばいである。

● 工事価格が3000万円以上になると、最低入札価格が公表されるようになった目的は何か。

● 価格情報に係る不祥事などの回避、職員の保護および予定価格以内での落札者が生じない入札(不落)をなくすためである。

● 建設産業を育成し、発展させていく立場で、入札制度はどうあるべきかを考える必要があるのではないか。

● 最低制限価格の事前公表は、今年度から試行的に実施しており、今年度の業者ごとの受注状況や工事成績の結果を受けて判断したい。

市長のマニフェスト―安全安心のまちづくりについて

● 昨年の豪雨を受け、1年がたつが、それに対する対応措置は何かしているのか。

● 綿打川周辺地域の浸水対策調査を行った結果、綿打川に放流する水量を調整するゲートや伏龍池を設置することが最も有効であると判断し、今年度中の完成に向け、現在その工事を行っている。

● 以前、消防署員の定数を増やすとの答弁があったが、どうなっているか。

● 平成24年度には現在の定数94名に6名を増員し、100名体制を築きたい。その後の充実強化については今後検討していく。



待機中の消防車

● 教育委員会の現在の教育のあり方、子どもたちの育て方について伺う。

● 新駅の設置は、多くの市民のみなさんの長年の願いであり、住民運動にもなっている。その先頭に立つて頑張りたいと思っている。

● 志摩の朝市会場のような建物については、利用価値が高まると考えられることから前向きに検討する。水上ステーションなどの設置は、建設費や首約策など大きな課題があるため整理し検討する。

前原東における土地区画整理の進捗状況と今後の対応(および)筑前前原駅と波多江駅間の新駅設置について

● 新駅設置の目的は何か伺う。

● 交通利便性の向上、環境にやさしいまちづくり、地域の活性化、地域経済への波及効果など、糸島市の発展につながるものと考えている。

● 地域の発展のためにも市として新駅設置促進に積極的に取り組むべきではないか。

● 新駅の設置は、多くの市民のみなさんの長年の願いであり、住民運動にもなっている。その先頭に立つて頑張りたいと思っている。

委員会視察報告

・総務文教常任委員会

谷口一成(委員長)、井上健作(副委員長)、吉村勝博(補佐)、田正子(江頭島子中嶋正信)、黒田公二(嶋栄幸)

●栃木県日光市

●地域防災
地域防災計画に基づき約9割の自治会で自主防災組織が結成されたり、防災士養成講座が実施されている。また、災害時の相互応援協定を県外も含め33の自治体と広域的に締結している。

●まちづくり基本条例
平成20年4月に「まちづくり基本条例」が市民会議やパブリックコメント、シンポジウムを経て制定された。市民の認知度を上げることが課題である。

●千葉県野田市

●公契約条例
平成21年9月に制定され、最低賃金が定められ

ている。官製ワーキングプアの防止のためにも必要性を感じる。また対象業務範囲の拡大や、5年以上の長期契約の実施などが課題である。

●ミニシティバス

平成16年の合併を機に運行開始。運賃は100円均一であるが、市の年間負担額が1億円を超えており、路線や運行体制の見直しを随時行っている。



野田市まめバスグッズ

●埼玉県草加市

●地区まちづくり推進事業
平成16年10月に総合計画とリンクした「みんなだまちづくり自治基本条例」が施行され、条例に基づい

た地域課題解決に向けた取り組みがされている。急速な人口増により、地域のつながりが薄く、町会、自治会の加入率が低く、また、学区と地区割りが違っており、公民館活動やコミュニティセンターとの連携が課題である。

●小児福祉基金

市民の主体的な活動を応援するために「ふるさと創生基金」を原資に創設。6年間で、延べ153団体に、7463万円を助成しているが、基金への寄付が少なく、原資が減り続けており、原資確保が課題である。

●環境基本計画

環境基本条例・環境基本計画・行動計画・実施計画と5年間かけて段階的に策定されている。

●住宅太陽光発電システム設置補助金

住宅太陽光発電システム設置補助金として年間500万円の予算を計上し、年間300件の補助を行っている。また、地下水湧水保全のために条例の制定を計画している。

・市民福祉常任委員会

中村隆光(委員長)、吉丸克彦(副委員長)、有田雄雄、古川忠正、三嶋俊成、波多江一正、松月よし子、徳安達成

●小児福祉基金

●ふるさと計画
LifeStyle(生き方)Of

その他の審議経過

議会案

●今定例会に提案された議会案は、「意見書の提出」に関するもので、議員提案による3議案がありました。

▼意見書案

●ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書
●切れ目ない中小企業支援および金融支援策を求める意見書
●PPP(環太平洋経済連携協定)への対応に関する意見書

採決結果は、3件とも可決となりました。可決された意見書については、糸島市議会として関係機関(内閣総理大臣や各関係大臣など)に送付しました。

決算審査特別委員会

平成21年度糸島市会計決算議案第153号、164号の12議案はすべて認定されました。

行政改革及び行政評価に関する調査特別委員会

中間報告書は情報公開コーナーに置いていきますのでご覧ください。また糸島市議会のホームページでもご覧いただけます。

臨時会

平成22年11月29日に第5回臨時会が開催されました。ここでは、「議案」糸島市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」が可決となりました。

福岡県中部十市議会議長会議員研修会

平成22年11月10日に筑紫野市文化会館において、(株)時事通信社、社長室総務兼解説委員の上崎正則氏による「地方分権社会における議会議員の使命と役割について」の講演が行われ、大変有意義な研修となりました。



中部十市議会議長会議員研修会

議会インターネット中継が始まります。

糸島市議会では、平成23年3月定例会より、議会のインターネット中継を開始する予定です。これにより議場まで行けなくても、自宅や公民館などのインターネットにつながっているパソコンから議事を傍聴することができます。

ライブ(生)中継はもちろん、録画での配信も予定していますので、好きな時間に見ることができます。ぜひご利用ください。

詳しくは、糸島市議会のホームページをご覧ください。

編集後記

12月定例会では、市の最上位の計画である第1次糸島市長期総合計画基本構想が上程され可決されました。これから10年間の糸島市のめざすべき姿が、この基本構想に凝縮されています。この基本構想の中に、情報基盤の整備が挙げられています。いまだ高速インターネット回線が整備されていない地域もある中で、市のホームページからの情報が、現在、最も早い情報となっています。本議会だよりも、議会終了後から編集を始めていますが、みなさまのお手元に届くまでに2か月の期間を要しています。そこでまず、3月より議会のインターネット中継が始まります。今まで傍聴に行けなかった方も、実際の議会がどのようなものか、議会の生の姿をぜひご覧になっていただきたいと思っております。また広報委員会では、今後も本議会だよりで、議会の内容を市民のみなさまが分かりやすいように配慮して編集していきますので、ご一読いただきますようお願いいたします。

議会の広報委員会



松本市熟年体育大学

●松本市
松本市熟年体育大学
熟年者を対象に生きがいづくりと日常生活における自主的な体力・健康増進および医療費削減を図っている。

Health(健康) And Sustainability(持続可能性)の頭文字を取って作られた言葉「ロハス」(LOHAS)の視点で、健康と環境を重視したまちづくりを進めている。市民と行政が共同して人材発掘ネットワーク交流を行い、地域ブランドの確立、新たな生活産業を生み出そうとしている。

●安曇野市

●環境行動計画
環境基本条例・環境基本計画・行動計画・実施計画と5年間かけて段階的に策定されている。

●住宅太陽光発電システム設置補助金

住宅太陽光発電システム設置補助金として年間500万円の予算を計上し、年間300件の補助を行っている。また、地下水湧水保全のために条例の制定を計画している。

次回の定例会は、3月1日(火)から開催の予定です。正式には2月末に決定し、ホームページや市役所窓口・公民館などでお知らせします。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。●問い合わせ:糸島市議会事務局 ☎(092)332-2084

九大留学生が家庭訪問

ホームビジット交流で異文化を体験
糸島市国際交流協会では、年末年始にかけて九州大学留学生が市内の家庭を訪問するホームビジット交流を開催しました。

交流に参加した留学生は、中国やマレーシア、ベトナムなど7か国の14人。訪問先の家族と一緒に文化交流を楽しみました。

吉田さん宅を訪れた中国出身のシャオジンさんとマレーシア出身のプテリさんは人生初の巻きずし作りに挑戦。2人とも日本語で「おいしい」と語っていました。



巻きずし作りに挑戦するシャオジンさん(中央)とプテリさん(右)



絵札を発見。勢いよく飛び込む子どもたち

絵札めがけてヘッドスライディング

ジャンボかるた大会を開催

フアームパーク伊都国で1月10日、第2回ジャンボかるた大会を開催しました。

この日は朝から雪が降り、会場の外は一面雪景色。雪で開催が危ぶまれましたが、元気がいい子どもたち16人が参加し、60cm×45cmの大きなかるたを使って遊びました。

読み手が最初の1文字を読み上げた瞬間に、子どもたちの体が反応します。滑り込むようにかるたを取る様子を保護者たちは、驚いたり笑ったりしながら見ていました。

東アジアの中の古代糸島

いとしま市民大学講座

交流しま専科「いとしま市民大学」の第5回講座「東アジアの中の古代糸島」が1月15日(土)、糸島市健康福祉センターふれあいで開催されました。

今回の講師は、伊都国歴史博物館名誉館長の西谷正先生。輝いていた古代糸島に焦点を当て、3世紀の東アジア諸国と北部九州の国々の関係など、分かりやすく解説されました。

受講生は、古代史の第一人者である西谷先生の話に熱心に聞き入りました。



この日を迎えられた喜び。感極まって涙ぐむ人も

今日からわたしたちも社会人

平成23年糸島市成人式

今年の新成人は1137人。新成人を祝う「成人式」を1月10日、前原二・三、志摩の3会場で開催。会場は、色とりどりの振り袖やはかまを着た若者で埋め尽くされました。

前原会場で新成人を代表してあいさつを述べた萩尾桂さんは「糸島で生まれ育ったことを誇りに思っている。社会人として、自分の言動に責任を持ちたい」と語りました。

会場では、成人になった喜びと親への感謝の気持ちから、涙ぐむ人も見られました。



市民大学には約100人の受講生が登録

大学生のまちづくり提案

地域活性化プランコンテストin糸島

1月8日から2泊3日で、地域活性化プランコンテストin糸島が開催され10日、市役所でプレゼンテーションが行われました。

これは、全国から集まった大学生が市内に合宿し糸島を活性化させるためのプランを学習・検討しその内容を競い合うものです。

コンテストには8チーム32人の大学生が参加し、上位4チームが発表。各チームとも、徹夜状態でプランを練り上げ、大学生らしい提案に、会場から拍手が送られていました。



大学生の提案を聞くこうと、100人近い市民が会場に集まりました



消防団の分列行進。日ごろの連携・結束が活動の大きな力

今年も市民の生命・財産を守る

糸島市消防出初め式

754人の消防団員と67人の消防本部員、総勢800人以上が参加し、曽根グラウンドで1月9日、消防出初め式を開催しました。

この日は、姫島婦人消防隊や少年消防クラブも参加し、分列行進やまとい演技、消防署員による消火作業の実演などが行われました。

昨年は例年より火災件数が少なく、市民への防火・防災意識の啓発活動が浸透したためと考えられます。年の初めの活動に参加者たちは改めて防災に向けて気を引き締めました。

市民提案型

まちづくり事業の紹介 4
市では、地域課題の解決につながる活動を支援するため、市民活動団体が提案実施する事業に補助を行っています。

特定非営利活動法人

びあねt

シニア世代が、パソコン学習をとおして情報社会に参加し、その知識と技術を地域活動や趣味に生かしてもらおうことを目的に活動しています。また、このサロンが継続的なシニアの交流の場所となることをめざし、今後も活動を続けていきます。

問い合わせ 事務局
☎(323)46906



学習をとおしてみんなと交流

くり愛グループ

芥屋かぶを用いて特産品となる漬物を作ることで、地域の活性化を図っています。また、この事業をとおして芥屋地域の人々(特に高齢者)と交流を深め、地域づくりの発展にも寄与しています。思いで活動をしています。

問い合わせ 事務局
☎(331)4718



芥屋かぶで特産品をめざす

「心の満足」を提供
NPO法人ジネス

高齢者への家事支援、子育て支援、誰もが住みよいまちづくりを促進するイベントの開催などを行っています。福祉活動をとおして「心の満足」を提供することにより、子ども、高齢者や障がい者のみなさんが生き生きと暮らせる地域づくりをめざしています。

問い合わせ 事務局
☎(324)9688



ファッションショーのイベントの様子

市民提案型 イベント案内
地域で見守り
子育て応援講演会

全国アレルギー週間に合わせ、子育て世代にアレルギー疾患への理解などを深める講演を行います。

講師 小田嶋博氏(国立病院機構福岡病院副院長、第48回日本小児アレルギー学会会長)
日時 3月13日(日) 13時30分から15時まで
場所 糸島市健康福祉センター「ふれあい」内(志摩初1)コミュニティイレストラランふード工房しまうま
参加費 無料
主催 NPO法人食が

紡ぐいのちの輪
問い合わせ 事務局
☎090(6291)9787

ユニバーサル
ファッションショー

モラルになるのは、民族衣装を着た九州大学などの留学生とシニアや障がい者の市民のみなさん。
日時 3月13日(日) 14時から15時30分まで
場所 伊都文化会館
入場料 500円
ゲスト 尺八と琴・フリスターイル、西南学院大学河鹿ギターアンサンブル＆ラテンパーカッション
主催 NPO法人ジネス
問い合わせ 事務局
☎(324)9688



一昨年の「よか志摩フォーラム」で開催されたファッションショー

糸島市情報化推進計画(案) パブリックコメント募集

市では「糸島市情報化推進計画」を策定中です。この計画の素案について、市民のみなさんから意見を募集します。

応募用紙設置場所
糸島市情報政策課(二丁志摩庁舎総合窓口課、各校区公民館)
募集期間 2月24日(木)から3月25日(金)まで
応募方法 応募用紙を備えて付けている施設、または市ホームページに掲載された計画案をご覧の上、所定の応募用紙に住所、氏名、連絡先、ご意見を記入し、直接持参するか、郵送やFAX、電子メールなどにより提出してください。

応募資格 市内に居住、または通勤・通学する個人および、市内にある企業・団体
※応募用紙は、市ホームページからもダウンロードできます。
※提出されたご意見に対し、個々の回答はできません



が、みなさんからのご意見を参考に、計画の策定について審議をします。※住所、氏名が未記入のものは無効となりますので、ご注意ください。

提出先 問い合わせCity
糸島市情報政策課
〒819-1102
糸島市前原西1-1-1
☎(332)2006
FAX(332)2344
E-mail johsaisaku@city.koshima.lg.jp

高齢者のなんでも相談会
無料で相談に応じます

福岡人権擁護委員協議会では、高齢者に関する「なんでも相談会」を開催します。

日時 2月27日(日) 13時から15時まで
場所 糸島市健康福祉センターあごら(洞1-22-1)
対象者 高齢者およびそのご家族など

相談事項
①高齢者に関する心配ごと、悩みごとなど
②成年後見制度、相続、遺言など



相談員 人権擁護委員・福岡法務局人権擁護部職員
申込方法 事前予約は不要です。
問い合わせ 福岡人権擁護委員協議会事務局(福岡市早良区祖原14-5福岡法務局西新出張所庁舎5階) ☎・FAX(831)4154

専修学校などでの
技能習得資金の貸し付け

糸島市では、経済的な理由により専修学校などでの修学が困難な人に資金を貸し付けています。

対象者 中学・高校の新卒者で、次のいずれかに該当する世帯に属する人

- ①生活保護を受けている世帯
- ②市県民税が非課税または減免されている世帯
- ③世帯の収入が生活保護基準額の1.5倍以下の世帯



種類と貸与額
①入校支度金(一時金).....100,000円
②修学資金(月額)
●高等課程および一般課程.....30,000円
●専門課程.....53,000円
受付期間 4月5日(火)から4月28日(木)まで
※申請書は、人権政策課に備えています。
※貸与の対象となる学校など詳しい内容は問い合わせてください。

申し込み 問い合わせ
糸島市人権政策課 ☎(332)2075

被扶養者になれませんか

現在、国民健康保険(国保)の加入者で、ご家族、ご親族に他の健康保険に加入している人がいたら、その被扶養者になれる場合があります。
 加入要件は、健康保険組合や協会けんぽ、共済組合などそれぞれの保険者によって異なります。
 今回は、協会けんぽの例を掲載していますので、被扶養者になれないかご検討ください。

国保の節税になる

健康保険組合や協会けんぽなどの場合は、被扶養者が増えても勤めている本人の保険料は変わりません。
 他の健康保険の被扶養者



所得がある場合や世帯全員が脱税することにすればさらに節税額が増えます。
被扶養者になる要件
 参考 ● 協会けんぽの場合
 収入が別表の基準未満であり、被扶養者の年間収入の2分の1未満であることが要件です。

別表 ● 協会けんぽの加入要件(参考)

区分	収入要件
60歳以上 または 障がいのある人	年間収入180万円未満または、 月額収入15万円未満
60歳未満の人	年間収入130万円未満または、 月額収入約10万8,000円未満

全国健康保険協会ホームページ
<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

別居でも被扶養者になれる

協会けんぽの場合、父母や祖父、子、弟妹などは、同居していなくても、前記の要件に加え、本人の収入より被扶養者からの援助による収入額が上回っていれば被扶養者になれる場合があります。
 左のフローチャートは、基本的な項目のみですので、詳しい内容は、家族や親族の勤務先の健康保険担当者に確認してください。

所得の申告について

世帯主は、収入がない場合や事業などの所得が赤字の場合でも申告が必要です。

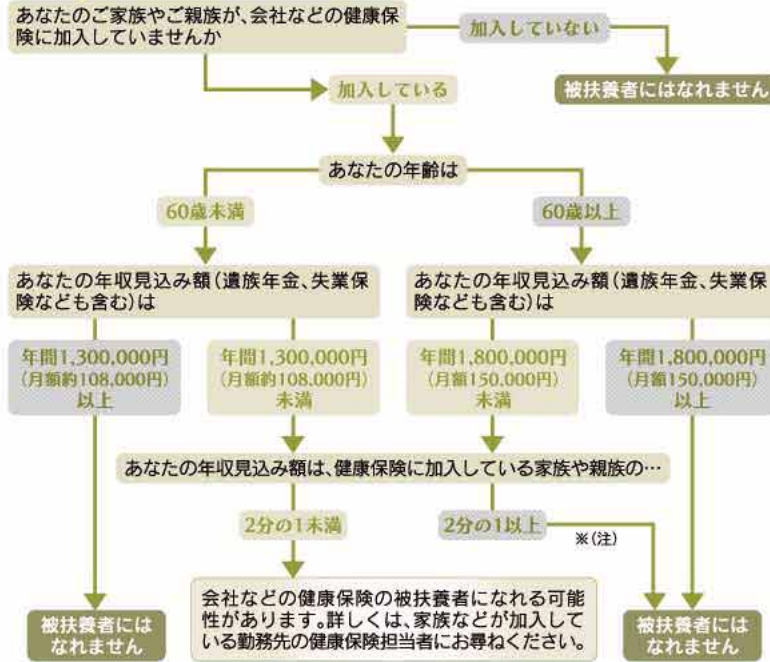
申告をしていないと、国民健康保険税や後期高齢者医療保険料の減額措置を受け

することができません。
申告期限 3月15日(火)

問100000
 糸島市国保年金課
 ☎(093)2071

フローチャートスタート

あなたは会社などの健康保険の被扶養者になれませんか



※(注)世帯の生計の状況によっては、2分の1以上であっても、収入額の要件(130万円または180万円未満)を満たしていれば被扶養者になれる場合があります。

慢性腎臓病の症状

息切れ: 少し早歩きしただけで息が切れる
 夜間尿: 夜間に何度もトイレに行く
 倦怠感: 疲れやすく、常にだるい感じがする
 むくみ: 靴や指輪がきつくなる
 貧血: 立ちくらみや貧血がたびたび起こる

生活習慣病の予防

慢性腎臓病の発症・進行を抑える生活習慣のポイント
 糸島市健康づくり課
 ☎(093)20696

① 尿として老廃物を体外から追い出す
 ② 血圧を調整する
 ③ 進行するにつれ現れる症状
 ④ 血液量・イオンバランスを調整する
 ⑤ 強い骨をつくる

慢性腎臓病とは、慢性的に腎臓が衰えたり、腎臓の機能が徐々に低下していく病気です。
 あまり耳にしえない病気ですが、生活習慣病(高血圧、糖尿病など)やメタボリックシンドロームとの関連も深く、誰もがかかる可能性のある病気です。
 現在、成人の8人に1人が発症し、新たな国民病ともいわれています。

腎臓は、空豆のような形をした握りこぶしぐらいの大きさの臓器で、腰のあたりに左右対称に2個あります。腎臓の役割は次のとおりです。
 ① 尿として老廃物を体外から追い出す
 ② 血圧を調整する
 ③ 進行するにつれ現れる症状
 ④ 血液量・イオンバランスを調整する
 ⑤ 強い骨をつくる

慢性腎臓病の初期は自覚症状がほとんどなく、ひそかに進行していきます。それが、この病気の怖いところです。そして一度悪くなってしまうと、自然に治ることはありません。症状を自覚したときには、かなり進行している場合(人工透析の手前)が多いため、体調変化だけでの早期発見は難しいのです。

尿や血圧、血液検査などの健康診断を定期的に行い、検査をすることが早期発見につながります。

尿は、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満、高血糖・高血圧・脂質異常)と共通しています。すなわち、これらの生活習慣病を改善し、日々の生活の中でコントロールしていくことが慢性腎臓病の予防につながります。

健康づくり ~血管を守る⑧~



いとしま文化財情報

vol.10

奈良時代の聖武天皇の命により、インド人の僧・遣唐使が建立したと伝えられる「怡土七箇寺」。その由来は伝説の域を出ません。旧怡土郡の全域にわたって点在して実在する寺院群です。



浮嶽神社 仏坐像

怡土七箇寺の中でも、最も西側の二丈吉井に位置する「久安寺」には、十もの僧坊があり、浮嶽山麓などを修行の場とした山岳仏教の舞台として栄えたものと考えられています。

これらの僧坊は近世には廃れてしまいましたが、古代の仏像群が「浮嶽神社」に今も伝えられています。神社に仏像とは少しちがはぐなのですが、明治時



浮嶽神社地藏菩薩立像



浮嶽神社如来形立像

代の初めごろまでは、神社と寺院が同じ敷地の中にあるのはごく普通のことでした。この浮嶽神社の仏像群のうちの「木造地藏菩薩立像(像高175.5cm)」「木造仏坐像(像高90.3cm)」「木造如来形立像(像高180.2cm)」の3体は、国の重要文化財にも指定されています。

どの仏像も一本の木から彫り込まれる「木造り」の手法が用いられており、波のようにひるがえる衣の表現が見事な、匠の技を駆使した芸術作品でもあります。

博物館だより

平成23年春季特別展 見どころ紹介

「いとしま幕末維新伝―志士の駆けた道―」博物館では、幕末ごろの糸島を舞台とした出来事を紹介する企画展を開催します。

幕末といえば、坂本龍馬の故郷・高知県や維新の志士を数多く輩出した山口県や鹿児島県が有名ですが、糸島も無関係だったわけではあり



野村望東尼像

ません。過激な志士が活動した長州藩に隣接する福岡県も多大な影響を受け、たくさんの事件が起こり、糸島でもさまざまなドラマが繰り広げられました。

野村望東尼と姫島

糸島の幕末で、思い浮かぶのが野村望東尼と姫島。望東尼は女流歌人で、高杉晋作などたくさんの方の動員者として活躍された。また街道沿いの宿場町「前

交流があった人です。1865(慶応元年)、福岡藩で勤皇派を弾圧する事件「乙丑の獄」が起こると、姫島に流されました。投獄された望東尼に、島の人々は温かく接しました。企画展では、姫島の人々と望東尼の交流の様子を紹介しています。

志士の駆けた道

糸島を東西に貫く「唐津街道」は当時、福岡藩と唐津藩を結ぶ主要な道路であり、幕末にまつわる悲劇も伝わっています。

- 原宿と「深江宿」は近年、郷土史家の調査や文化財の発掘調査などにより、次第に姿が明らかとなってきました。この志士の駆けた唐津街道と宿場町についても紹介する予定です。
- 会期 2月26日(土)から4月3日(日)まで
- 会場 伊都国歴史博物館
- 志摩歴史資料館のイベント
- 糸島のひなまつり
- 会期 2月19日(土)から3月27日(日)まで
- 伊都国歴史博物館のイベント
- 伊都学講座：一貴山鏡子塚古墳―長野川流域の古墳群
- 日程 2月19日(土)
- 講師 古川秀幸(学芸員)
- 名譽館長講座：近代・現代考古学の諸問題
- 日程 2月20日(日)
- 講師 西谷正名館長
- ※いずれも14時から。資料代200円、申し込みが必要。
- 申し込み窓口
- 伊都国歴史博物館
- 〒(900)7003

「消したかな」あなたを守る 合言葉

平成23年 春季火災予防運動

この運動は、これから火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、3月1日(火)から7日(月)までの1週間、火災発生の防止と火災による死傷者の減少、貴重な財産の損失を防ぐことを目的に実施します。



- 実施機関 糸島市、市消防本部(署)、市消防団
- 重点目標
 - 住宅用火災警報器の設置促進
 - 放火火災、連続放火火災の防止
- 住宅防火の7つのポイント
 - 寝たばこは絶対やめる
 - ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用
 - ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す
 - 逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を設置する
 - 寝具、衣類からの火災を防ぐため、防災製品を使用
 - 火災を小さいうちに消すため、住宅用消火器などを設置
 - お年寄りや身体の不自由な人を守るため、隣近所の協力体制をつくる
- 問い合わせ
 - 糸島市消防本部予防課
 - ☎(322)4222

豊かな長寿社会をめざす講演会

高齢期を迎え、病気が寝たきりにならないためには、生活習慣を見直し、一人ひとりが生きがいや自己実現のために取り組むことがたいせつです。これを支援し、喜びある長寿社会の創設をめざし、医療・運動・栄養の立場から3つの講演を行います。

- 日時 3月13日(日)14時から16時30分まで(13時30分受付開始)
- 会場 糸島市健康福祉センター「あこら」視聴覚室
- 講演会の内容など
 - 講演① 元気な高齢期を迎えるための生活習慣(講師 眞崎義憲さん/九州大学健康科学センター准教授)
 - 講演② 元気な高齢期のための運動(講師 大柿哲朗さん/九州大学健康科学センター1長教授)
 - 講演③ 元気な高齢期のための食事支援(講師 岩本昌子さん/中村学園大学栄養科学部准教授)
 - ◎健康づくり相談(講演後) 体操・運動指導、骨密度測定、食生活相談
 - ※運動できる軽装で参加してください。
 - 主催 九州大学大学院農学研究院 食育・食の安全安心支援室
 - 問い合わせ
 - 糸島市健康づくり課
 - ☎(322)2090





● 店長から「ひとこと」
野菜ソムリエ、食育指導士の資格を生かして対応します。ご予算に応じた季節の卓盛りコースも用意しております。

こだわりの食材を使用

われら

地産地消
応援団

● お問い合わせ先
所在地 糸島市教浦495番地2

● 営業時間 11時30分から14時30分、17時から21時30分まで
(定休木曜日、木曜が祝日の場合は金曜が休み)
☎(092)11039

● 福ふくの里
ふれあい交流センター

米や野菜、果物、鮮魚類など地元で採れた、とっっても新鮮なものを豊富に取りそろえています。

● 店長から「ひとこと」
地元農家が丹精して育てた野菜で、安全・安心・新鮮をモットーに取り組んでいます。他にも地元業者が生産するしょうゆやみそ、雑穀米、花、



JA糸島アグリ内の売り場

みなさんは、糸島市内にたくさんある農産物直売所があることはご存じですね。しかし、自宅周辺のスーパーマーケットにも糸島産農産物コーナーがあることを知っていましたか。

糸島まるかじり通信

ここにもあったよ糸島産



マルコーバリューにぎわい広場の様子

糸島市には19か所の農産物直売所があり、糸島の大地の恵みである農産物をみなさんに提供しています。しかし、あなたの周りのスーパーマーケットでもよく目を凝らしてください。

● お問い合わせ先
糸島市農業振興課
☎(092)20087

糸島市では、市長を応援団長、市内飲食店や食品加工業者、宿泊施設、農畜海産物直売所などを応援団員とした「地産地消応援団」を発足させ、地産地消の推進を図っています。さあ、あなたの周りに、地産地消応援団を掲げている店舗を探してみてください。

地産地消応援団員は、随時募集しています。お気軽にお問い合わせください。

『行ってみよう』糸島産農産物コーナー

店名	所在地	電話番号	営業時間	コーナー名等
ヨークス深江店	二丈深江1785番地	☎(325)0887	8:00~20:00	『生産者直売所』 ●地元の旬の農産物
西鉄ストア前原店	前原北2-5-8	☎(322)9593	10:00~21:00	『庭先やさい 恵の会』 ●地元の旬の農産物 ●会に参加した他市生産者の農産物
JA糸島アグリ	志摩小高土14-34	☎(327)2740	8:30~18:00 (10~3月) 8:30~19:00 (4~9月)	●地元の旬の農産物 ●地元特産品 ※「糸島山田錦」(日本酒) ここのみの販売
Aコープ前原駅前店ポルタ	前原駅南2-2-1	☎(322)2861	9:30~21:00	●地元の旬の農産物 ●地元産の調味料 など
Aコープ志摩店	志摩初195番地1	☎(327)0049	9:30~20:00 (10~3月) 9:30~21:00 (4~9月)	産直市場「なかよし市」 ●地元の旬の農産物
マルコーバリュー	波多江駅北4-4-1	☎(322)2628	10:00~22:30	『にぎわい広場』 ●地元の旬の農産物
マルシヨク南風店	南風台3-14-41	☎(321)3300	10:00~21:00	『南風産直 七の会』 ●地元の旬の農産物
サンリブ前原	前原中央2-7-7	☎(323)2888	10:00~20:00	産直コーナー ●地元の旬の農産物
マックスバリュ前原店	浦志1-5-2	☎(330)8811	24時間	農産物もちり市市場「SORAI」 ●地元の旬の農産物 ●SORA参加の他市生産者の農産物
サニー前原店	浦志1-7-7	☎(324)6632	24時間	『地元育ちコーナー』 ●地元の旬の農産物

NPO・ボランティアフェア 2011

こらば糸島では、糸島市誕生一周年を記念し「ふるさと糸島」をテーマにイベントを開催します。

こらば糸島では、観光や歴史、自然、食、方言などを中心に、ボランティアやNPOの活動を知り、興味を持ってもらうためにボランティアフェアを開催します。

ボランティアを始めた人も、活動中の人も、お気軽にご参加ください。
日時 3月12日(土) 10時から16時まで
会場 糸島市NPO・ボランティアセンター「こらば糸島」

● 参加費 無料
● 内容 ①「二編演(10時10分)」
「糸島方言夢散歩」
②「糸島の観光・歴史・自然と試食会(12時から)」
③「まが玉づくり体験(13時30分から)」
④「展示」
ボランティアやNPO団体の活動紹介
⑤「申込方法」電話かFAX、Eメールで申し込み住所・氏名・電話番号を明記
⑥「申込期限」3月5日(土)

● 申し込み 糸島市NPO・ボランティアセンター「こらば糸島」
FAX (0924) 01181
E-mail koraboo@city.ito-shima.lg.jp



昨年のボランティアフェアの様子

くらしの 情報

2月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

3月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

■3月の納期

市県民税	随時
固定資産税	随時
国民健康保険税	10期分
介護保険料	10期分
後期高齢者医療保険料	9期分
保育料	3月分
市営住宅家賃	3月分

■表紙の写真
激しい、もちの争奪戦
もちが割れるまで押し合う



もちが強くはみ込まれ、もち押しが防まる
雪交じりの寒さの中、鏡もちが割れるまで押し合う。勢い水を浴び、男たちの体から湯気が立ち上る。
観客からは「がんばれ」の掛け声。30分程度の行事だが、観客も一体となって無病息災を祈る。

募集・申請

県営住宅入居者募集

23年第1回抽選方式

県では、県営住宅の空き家の入居者を次のとおり募集します。

案内書配布・申込受付期間

3月1日(火)から9日(水)まで

※申込書は、市役所本庁と二丈・志摩支所に置いてあります。

※県営住宅の募集についての詳しい内容は、県住宅供給公社にお問い合わせください。

申し込み・問い合わせ

福岡県住宅供給公社県営住宅管理部

☎(781)8029

新入団員の募集

ボーイスカウト

ボーイスカウト系島第1団とガールスカウト福岡県第36団では、新入団員を募集します。

対象

【ボーイスカウト】6歳から18歳まで

【ガールスカウト】7歳から18歳まで

入団説明会

日時 3月6日(日) 13時30分から15時まで

場所 伊都文化会館

申し込み・問い合わせ

ボーイ・ガールスカウト団本部(砂野)

☎(322)2958

講演会

緊急FAX説明会

聴覚障がい者のみなさんへ

市では、聴覚障がい者のみなさんを対象に、火災・救急時の消防署へのFAX通信について説明会を開催します。

また、当日は要約筆記と手話通訳を行います。

日時 3月24日(木) 19時から21時まで

場所 糸島市消防本部3階研修室

説明 糸島市消防本部

参加費 無料

申し込み・問い合わせ

糸島市障書福祉課

☎(332)2073
FAX(321)1139

お知らせ

特別障害者手当など

手当を支給しています

市では、精神や身体に重度の障害を重複して持つ人や、常時寝たきりの状態にある人など、日常生活において常時特別の介護を必要とする在宅の人に次の手当を支給しています。

それぞれの受給資格要件は関係法令で細かく定められています。

障害の程度や日常生活動作の状況などを医師の意見書などで確認し、個別に判断していくこととなります。

詳細については市役所障害福祉課まで、お問い合わせください。

手当の種類

①特別障害者手当

在宅の20歳以上の者
月額2万6440円

②障害児福祉手当

在宅の20歳未満の者
月額1万4380円

申し込み・問い合わせ

糸島市障書福祉課
☎(332)2073

振替口座登録の取り消し

収税課からのお知らせ

市では、平成22年度の課税がなく納税義務者が死亡しており、登録口座が死亡者の名義となっているものについて、登録してある振替口座を取り消します。お知らせします。

問い合わせ

糸島市収税課
☎(323)1111

市役所の休日開庁

平日の手續きが困難な人へ

市民サービスの向上と引越シーズンへの窓口混雑を緩和するため、市役所本庁舎を休日開庁します。

各種証明書の交付や住民異動の届け出とそれに伴う関係手続きを受付します(一部取り扱わない業務あり)。

お仕事の都合などで平日に手続きすることが困難な方など、この機会にぜひご利用ください。

開庁実施課

市民課、税務課、収税課、生活環境課、国保年金課、介護保険課、子ども課、障害福祉課、

学校教育課

※取り扱う業務内容等については、3月1日号でお知らせします。

開庁日 3月21日(月・祝)、3月27日(日)、4月3日(日)

開庁時間 8時30分から12時まで

問い合わせ

糸島市市民課
☎(332)2065

福岡高速が便利になります

開通のお知らせ

福岡高速5号線(野芥〜福岡)および西九州自動車道(福岡JCT)がいよいよ開通します。

福岡高速5号線と西九州自動車道(福岡前原道路)が接続することで、より一層便利になります。また開通に伴い、野芥および福岡の出入り口が新設されます。

開通日時

2月26日(土)15時

問い合わせ

福岡北九州高速道路公社(福岡市東区東浜2-1-53)
☎(631)3282
FAX(631)3287
<http://www.fk-tosikou.or.jp>

公民館からのお知らせ

加布里公民館

第32回 愛の鐘記念日講演会

2月26日(土)10時00分〜/加布里公民館

加布里校区では、「第32回 愛の鐘記念日講演会」を2月26日(土)午前10時から、加布里公民館で開催します。

始まりは、加布里校区婦人会による、昭和54年のあいさつ運動にまでさかのぼる行事です。

今年は、長糸・玉栄寺の中島至心住職をお招きして、お話を伺うことになりました。参加は無料です。どうぞ、みなさんお越しください。

時間 10時
場所 加布里公民館3階
参加費 無料



昨年の講演会の様子

問い合わせ 加布里公民館 ☎(322)3026

入場無料

みんなのコンサート

音楽がやってくる

3月13日(日)15時開演 ● 深江公民館
市では、子どもから大人までみんなが楽しめる「みんなのコンサート」を開催します。

アコーディオン奏者・新井武人さん率いるバンド「リンギンベルズ・ロンドクラブ」が出演します。

みなさん、お越しください。

演奏曲目

「君の住む街へ」を提供
(作詞・作曲・演奏)。
リンギンベルズ、
バンドクラブ
新井武人・中村千智(ピアノ)・井上高志(サクソフォーン)・ユウキ(ドラム)によるアコースティックバンド。
語り合うように響き合う楽器。訪れたことのない憧れの地へと旅心をくすぐるオリジナル楽曲。

ウキウキ☆ストリート

丸い丘 ほか

出演者プロフィール

♪新井武人アコーディオン
2007年「リンギンベルズ・ロンドクラブ」活動開始。小泉今日子さんのアルバム「Nice Middle」

あらゆる音楽ジャンルの垣根を自由に越える演奏は、聴く人を楽しいつばいの世界に誘います。

2010年8月、3作品目となるアルバムを発表。

問い合わせ

糸島市文化課
☎(666)2066



楽しいコンサートです

広報 Itoshima Public Information Calendar

3月 March

休日・夜間等当番医

日 時	場 所	電 話 番 号
日・祝日 9:00~12:00	糸島口診療保健センター	☎(324)4317

日 時	場 所	電 話 番 号
月~金曜日 19:00~翌6:30	市休日・夜間急患センター	☎(329)1190
土・祝前日 19:00~翌9:00		
日・祝日 9:00~翌6:30		

日 時	日 程	場 所	電 話 番 号
月~金曜日 19:00~翌6:30	市休日・夜間急患センター	☎(329)1190	
日・祝日 9:00~18:00	3/6(日)	渡辺整形外科病院	☎(323)0013
	3/13(日)	有田病院	☎(322)2061
	3/20(日)	糸島医師会病院	☎(322)3631
	3/21(月・祝)	舌間整形外科医院	☎(322)1131
	3/27(日)	奥医院	☎(327)0788

土・日・祝日について、上記時間外は、救急告示医療機関などへ電話でご確認の上、ご来院ください。

(救急告示医療機関) 有田病院☎(322)2061
井上病院☎(323)3437
渡辺整形外科病院☎(323)0013
(県救急医療情報センター) ☎(471)0099

3月の健診などの日程

内 容	実施日(曜)	受付時間	場 所
4か月児健診	4(金)、11(金)	13:00~13:30	市健康福祉センター あごら
10か月児健診	2(水)、9(水)		
1歳6か月児健診	3(木)、10(木)、15(火)	9:30~11:00	あごら
3歳児健診	1(火)、8(火)、17(木)		
のびのび相談(育児相談)	25(金)	9:45~10:00	あごら
もぐもぐ教室(離乳食教室)	24(木)(要予約)	9:30~11:00	ふれあい
母子手帳交付	2(水)、17(木)	10:00~11:00	ふれあい
のびのび相談(育児相談)	10(木)		

問い合わせ 糸島市健康づくり課☎(332)2069

各種定例相談

相談内容	実施日	時間	場 所
NPOに関する相談	毎週火	9:00~17:00	市NPO・ボランティアセンターこらほ糸島 ☎(324)9181(要予約)
職業相談		8:45~17:00	糸島市ふるさとハローワーク ☎(321)1610
消費生活相談		9:00~17:00	消費生活センター(市役所商工観光課内) ☎(332)2098
家庭児童相談	毎週月~金	8:30~17:00	市役所子ども課 ☎(332)2074
子育て支援相談		8:30~17:00	市役所子ども課(子育て支援センターは土曜日実施) ☎(321)0464
教育相談		10:00~18:00	市役所第二庁舎3階 ☎(324)4109
女性相談・DV相談		9:00~17:00	市役所人権啓発課 ☎(322)2845
人権に関する相談	毎週火~日	9:00~17:00	糸島市人権センター ☎(322)5095

※実施日が祝日と重なる場合は実施しません。

期間	会社名	電話番号
2月28日~3月6日	(株)浦山設備	☎(326)5124
3月7日~3月13日	(有)中下設備	☎(322)2459
3月14日~3月20日	(株)神田設備工業	☎(322)2779
3月21日~3月27日	橋本施設工業(株)	☎(322)1571
3月28日~4月3日	(株)水栄設備	☎(325)9700 [(323)3528]

※[]内は、夜間・日曜祝日の電話番号。 ※修理は有料です。

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
		1 ●法律心配ごと相談 10:00~12:00 (あごら ☎(324)1660(要予約)) ●心配ごと相談 13:00~16:00 (ふれあい ☎(327)3514) ●人権相談 13:00~16:00 (人権センター ☎(322)1697)	2	3 ●女性の心理 カウンセリング 10:00~16:00 (人権センター ☎(332)2075 (2日前までに要予約)) ■1型糖尿病についての講演会と 交流会 13:30~15:30 (県糸島総合庁舎(糸島保健 福祉事務所健康増進係 ☎(322)1439 2月25日までに要申し込み))	4	5
6	7	8 ●法律心配ごと相談 10:00~12:00 (あごら ☎(324)1660(要予約)) ●人権相談 13:00~16:00 (人権センター ☎(322)1697) ●人権相談 13:00~16:00 (ふれあい ☎(322)1697)	9 ●社保・年金相談 10:00~15:00 (人権センター ☎(322)5095)	10 ●心配ごと相談 13:00~16:00 (二丈苑 ☎(325)0433) ●女性の心理 カウンセリング 10:00~16:00 (ラポール ☎(332)2075 (2日前までに要予約))	11 ●中学校卒業式(市立) ●労働相談 13:00~16:00 (ラポール ☎(324)2800 (2日前までに要予約))	12 ■NPO・ボランティア フェア 10:00~16:00 (こらほ糸島 ☎・FAX(324)9181 (3月5日までに要申し込み))
13 ●みんなのコンサート in 深江 15:00~ (文化課 ☎(332)2093) ●豊かな長寿社会をめざす講演会 14:00~16:00(あごら視聴覚室 (糸島市健康づくり課 ☎(332)2069)) ●ユニバーサルファッションショー 14:00~15:30(伊都文化会館 (NPO法人ビジネス事務局 ☎(324)9688))	14	15 ●法律心配ごと相談 10:00~12:00 (あごら ☎(324)1660 (要予約)) ●人権相談 13:00~16:00 (人権センター ☎(322)1697)	16 ●教育相談 10:00~16:00 (人権センター ☎(322)1697) ●無料公証相談 13:00~16:00(本庁舎 第二庁舎3階会議室 (福岡公証役場 ☎(741)0310 (朝々日までに要予約))	17 ●女性の心理 カウンセリング 10:00~16:00 (人権センター ☎(332)2075 (2日前までに要予約))	18 ●中学校卒業式(市立) ●消費生活相談 9:00~12:00 (人権センター ☎(322)1697)	19 ●行政相談 13:30~15:30 (人権センター ☎(322)1697)
20 ●納税相談 8:30~17:00 (市役所収税課 ☎(332)2067)	21 ●休日開庁日 8:30~12:00 (市役所市民課 ☎(332)2065)	22 ●人権相談 13:00~16:00 (人権センター ☎(322)1697)	23 ●社保・年金相談 10:00~15:00 (人権センター ☎(322)5095)	24 ●女性の心理 カウンセリング 10:00~16:00 (ラポール ☎(332)2075 (2日前までに要予約))	25 ●障がい者総合相談 13:30~16:00 (市役所403会議室 (障害福祉課 ☎(332)2073))	26
27 ●リサイクルプラザ 抽選会 14:00~ (リサイクルプラザ ☎(327)5330 (当日12時までに 要申し込み)) ●休日開庁日 8:30~12:00 (市役所市民課 ☎(332)2065)	28	29 ●法律心配ごと相談 10:00~12:00、 (あごら ☎(324)1660 (要予約)) ●人権相談 13:00~16:00 (人権センター ☎(322)1697)	30	31		

在宅介護相談

相談窓口	電話番号
糸島市地域包括支援センター(糸島市健康福祉センターあごら内)	☎(321)0543
富の里支援センター(特別養護老人ホーム内)	☎(324)2330
マイナスハウス支援センター(特別養護老人ホーム内)	☎(329)1501
仙寿苑支援センター(特別養護老人ホーム内)	☎(325)3379
志摩園支援センター(特別養護老人ホーム内)	☎(328)2121

※専門スタッフによる相談を24時間体制で行います。

ごみを分けて資源に

可処分ごみの量の変化
平成23年1月中 2,012トン 前年同月比 +0.1%

編集後記

「糸島のできごと」に掲載している成人式の取材に今年も行ってきました。これで私が参加した成人式は全部で3回になりました。取材をしていると、自分も5年前はあの席に座っていたのか…とついつい思い出にふけてしまいます。車の免許を取り、貯金を愛車を購入。大学での勉強とアルバイトに励む毎日。何もかもが新鮮でした。ふと気付けば、就職してから2年がたとうとしています。広報の原稿が出来上がったかと思えば、すぐに次号の作成に取り掛かり、2週間後には出稿。毎日が同じことの繰り返しですが、新成人を見ると初心を思い出します。今後もこの気持ちを忘れずに、読んでもらえる広報をめざしていきます。(友岡)